

おおかわ 園 だ よ り 2月

・2026



もうすぐ立春とは言え、一年で一番寒いといわれる時期になりました。一方で1月は20℃近くまで気温が上がる日もあり、冬なのに大丈夫だろうか・・・と心配になることもありました。きっと寒さはまだまだ続くと思いますが、これから梅の花が咲き始め、桃の花、そして園庭の桜の花も・・・と開花の準備を始めていくことでしょう。最近、大きいクラスの子どもたちから「なんで空は・・・?」「どうして息が・・・?」と不思議に感じている様子をよく目にするようになりました。そんな姿を見ていると、いいぞ！いいぞ！と嬉しくなります。だってその不思議に思う気持ちが、興味・関心・好奇心に繋がり考える力を育てていくからです。だからこそ、大人になったら見えにくくなってしまっているように感じる「不思議」を子どもたちと共に面白がり、不思議に思う心を育てていきたいと思っています。



どう考える？ 大川保育園の節分！

毎年恒例となってきましたが、大川保育園の節分についてご紹介します。お家で節分についてお子さんから話が出ていたり、怖がったり、楽しみにしていたりしていたりと、様々な思いを馳せていることでしょう。さて、その節分ですが・・・

節分は日本独自の文化で、邪気除けのために豆をまき、鬼退治をする習慣です。鬼は絵本・物語など様々な場所や物に登場しますが、節分の鬼は「節分の日に訪れ、終わると帰っていく」いわば来訪神。来訪神は地域の人々に幸せをもたらし、災いを取り除くと信仰され、世界中に多種多様な行事が伝承されています。秋田県の「なまはげ」もその一つです。大川保育園の節分の鬼は、とても本格的な鬼で、きっと今年も怖がる姿がいっぱいになることでしょう。ですが、怖がらせることが目的ではありません。『今年一年の安全や健康を願う』、大きいクラスの子どもたちは『友だちと力を合わせ知恵を出し合い、困難を乗り越える』というねらいもあります。それに人知の及ばない存在に思いを馳せることには価値があり、怖い対象がなぜ登場するのかがわかっていて、安全な場所・安心できる大人(守ってくれる存在)がいる中で怖い思いをすることは、貴重な経験だと考えています。鬼は、豆・イワシの頭・ヒイラギの葉を嫌がり園舎の中には入ってきません。(でも少しでもぬかりがあると、入ってこようとするので知恵を出し合い、どうするか考えるのです。)そして、いざというときは大人が守ってくれるという絶対的なものがある大川保育園の節分。

今年は「桃太郎」と出会い、力が出るキビ団子を貰って食べて・・・桃太郎ごっこを含めた節分となっています。きつときりん組の子どもたちは、「今年は自分たちが小さい子たちを守らなければ！」と勇敢な姿を見せてくれることでしょう。その姿を見た小さい子たちは、「きりんさんが守ってくれた」と恐怖より温かさが心に残ることでしょう。さあ無事に鬼をやっつけることが、お福さんを助け出すことができるでしょうか。節分を終えて帰ってきた時には、「よく頑張ったね」「今年は病気にならずに元気に過ごせるね」「もう大丈夫」と安心する言葉をかけてあげて下さいね。

1	日	
2	月	
3	火	節分
4	水	
5	木	不審者訓練
6	金	うさぎ組クラス懇談
7	土	
8	日	
9	月	防災訓練
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	
13	金	りす組クラス懇談
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	誕生会
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	